

しら
白

かば
樺

同窓会会報 第7号

発行/東京都立永山高等学校同窓会

〒206-0025 東京都多摩市永山5-22

TEL 042-374-9891

FAX 042-371-5615

HP <http://www.nagayama-obog.jp/>

編集・印刷/ 同窓会事務局

〒121-0831 足立区舎人3-11-26 EPS

TEL 03-5839-3456(代)

FAX 03-5839-3460



第10回永山高校同窓会定期総会

日時：8月1日(土) 16:00 (15:30 受付)

場所：京王プラザホテル (新宿)

会費：11,000円 (一次会・二次会込み)

(一次会のみの場合：8,500円)

(未成年については：7,000円)

出欠席の返事は同封のフォームにてFAXまたはQRコードから下さるようお願い申し上げます。



「創立五十周年へ！」

会長 奈良崎 久和 (三期生)

会報第七号の発行にあたり、ご挨拶させていただきます。

同窓会の活動に対して、同窓生の皆さまのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

私たち同窓会は、一九七五（昭和五十）年、一期生の卒業と共にスタートし、途中、活動を休止した時期もありましたが、今年で四十一年目を迎えました。卒業生も一四〇〇人を数えるまでにになりました。年齢層もさまざまですが、四号で紹介した三十一期生の元日本ライトフライ級チャンピオン黒田雅之さん、六号で紹介した八期生の蝶野正洋さんなど各分野で第一人者として活躍しているメンバーもたくさんいます。

創立三十周年を機に活動を再開した新生同窓会も新たな十年に向け、同じ学び舎で青春時代を過ごした仲間との絆を深め、後輩を支援するための活動に取り組んでいます。ホームページなども活用し、少しでも同窓会・学校の様子を伝えるとともに、同期会やクラス会の案内などタイムリーな話題の提供にも努めていきたいと思っております。

本年は、二年に一度の同窓会定期総会を二十七年八月一日（土）十六時から新宿・京王プラザホテルにて開催いたします。例年は六月に開く総会を本年は八月にし、かつ学校や多摩地域を離れての開催になりますので、少し遠

方からの方もお越しいただけたらと考えています。

総会の開催日に合わせて、同期生会・クラス会など、この総会を契機に、懐かしい恩師・友人と旧交を温める場になれば幸いです。

このところ母校も落ち着いて学業やクラブ活動に取り組む環境が整ってきていることを実感しています。吹奏楽部や野球部のみならず生徒と教員の「やる気」が呼応して良い結果を生んでいると思います。自分たちの学校に誇りを持ち、かつ楽しく高校生活を充実できるような心から応援したいと思えます。

また、同窓会はPTA、PTAOB会及び同窓会からなる今年で八年目を迎えた「永山高校後援会」に参加しています。力を合わせ創立五十周年へ、地域に根差しさらに飛躍する母校・そして在校生を、応援していきたいと考えています。

新しい時代に入った母校とともに、末永く本同窓会が続いていけるよう、役員全員で心を合わせて運営にあたらせていただきます。行き届かない点もあると思いますが、同窓生の皆さまには、今後とも格別のご理解・ご協力をいただけますよう心よりお願いいたします。



「同窓会の皆さまへ」

校長 西村 伸二

同窓生の皆さま、はじめまして。本年度四月一日に第十四代永山高等学校長として着任しました、西村伸二と申します。三月末日まで、教育庁都立学校教育部高等学校教育課統括指導主事として勤務しておりました。皆さま御承知のとおり、昨年度は、都立高校の入学選抜学力検査におきまして採点誤り問題が起り、その対応に明け暮れた毎日でした。幸いにも本校では、三件の誤りのみで合否の入れ替えはありませんでした。

さて、この度私は、およそ十二年ぶりに高等学校に戻って働くことができましたが、何よりも嬉しいのは、生徒の笑顔に接することができる、ということ。そもそも私が管理職を志し、教育行政の場へ身を投じたのは、一人でも多くの生徒が笑顔で通うことができるような、そんな学校の仕組みを作るには、学校の設置者たる教育委員会事務局に行き、そこで尽力するのが近道だと思いついたからでした。力及ばず、その思いがどれだけ実現できたかは判断いたしかねるところですが、私の教育行政における業務遂行の根底には、常に「生徒の笑顔」を目指す思いがあったことだけは確かです。

その思いを今度は現場で実践する機会を得ることができました。この喜びを抑えることができず、不謹慎ながら、校長への内示を受けた後、知り合いの

行政職員から、今までと違って顔がほころんでいると指摘を受ける有様でした。先ほども申し上げましたが、生徒が笑顔で挨拶をしてくれるありがたさを噛みしめつつ、永山高校を次なるステージへさらに向上させるために、「地元の小中学生や中学生が憧れる学校」となることを目指します。「時を守り、場を清め、礼を正す。」を掲げ、生徒一人一人の規範意識と社会貢献意識を育てる健全育成を推進するとともに、生徒が社会へ出たあとも進んで学ぼうとする意欲・姿勢の基盤となる集中力・持続力を厳しい生活指導を基調としつつ、部活動等とおして育成してまいります。我々教職員一同さらに努力を重ね、よりよい永山高校となるよう邁進いたします。変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。同窓生の皆さま、どうか母校へお越しくださる機会をお作りください。



永山高校の今



書評合戦校内予選



水泳部 西東京国公立高校水泳大会（本校プール）



体育祭（5月30日）



永高祭（9月12,13日）小笠原フラ



沖縄修学旅行（1月19日～22日）



宿泊防災訓練（国士舘大学の協力）



剣道部 7地区新人戦



第1回学校説明会（11月15日）



文化祭における入試相談コーナー

今年度も年間を通じて様々な教育活動を展開しています。生徒の活躍は実績を残し、永山高校の特色となり、地域から理解、歓迎されています。

今年度の変更

今年の体育祭は、一学期に復活となりました。二期の文化祭から分離し、五月三十日に実施しました。また、九月三十日から十月一日にかけての宿泊防災訓練は、お隣の国士舘大学防災・救命救助総合研究所の協力を得ながら、より実践的で全員が一同に体験できる訓練ができました。入学選抜では東京都全体で、一層精度を高めるため、採点等でより時間をかけての実施となりました。

部活動の主な成績

吹奏楽部

東京都高等学校吹奏楽部コンクール A組銀賞全日本マーチングコンテスト 東京都大会銀賞
東京都高等学校アンサンブルコンテスト
金管八重奏銀賞、木管八重奏金賞、

映画部

第九回高校生映画コンクール 佳作

野球部

秋季大会ブロック大会優勝・都大会進出

サッカー部

関東大会都予選出場

女子バスケットボール部

新人大会東京都予選3回戦進出

女子バレーボール部

新人選手権大会ベスト六十八

剣道部

都大会連続出場 団体ベスト三十二

硬式テニス部

都大会個人男子ブロック決勝進出

水泳部

西東京国公立高校水泳大会個人部門入賞多数

第四十一回卒業式に参加して

平成二十七年三月六日(金) 都立永山高校体育館において第四十一回卒業式が執り行われました。私は奈良崎会長の代理として二九四名の卒業生を前に祝辞を読み上げさせて頂きました。

当日は、穏やかな天気恵まれ小野村校長をはじめ来賓の方々の卒業生に対する祝辞が披露されました。また、後援会からは十八名の生徒に対して皆勤賞の表彰も合わせて執り行われました。

私が永山高校の卒業式に出席したのは三十四年前の自分自身の卒業式以来となりました。

私のころと違って「蛍の光」や「仰げば尊し」の歌の場面はありませんでしたが、式は整然と進行し、今年は十八名の生徒が皆勤賞を受ける等、優秀な高校との印象を強く受けました。彼らが入会し、同窓会も益々発展していくものと思えました。

(同窓会副会長 林田真二)



永高バレーボール部OG会

永高バレーボール部元監督顧問、池田稔明先生の傘寿のお祝い会を十一月八日小田急ホテルセンチュリー相模大野にて開催されました。多数のOGに囲まれ賑やかに楽しんだ懐かしい会となりました。池田先生は当時とほとんどお変わりはなく返って生徒だったかえって私達が先生との見た目年齢差が縮まり??池田先生がいかにお元気でいらっしゃるのかが不思議であり若さを保つ秘訣を伝授してほしい程でした。バレー部OGは今も尚、ママさんバレーを続けている方々がとても多く、今も勝つバレーボールを目指してたり、お楽しみバレーをしたりと様々です。何十年たっても高校のOG会が健在であり、その当時の仲間達の絆が今も続いている事を誇りに思うと同時に感謝の気持ちも湧いてきます。そんな永高バレーボール部OG会であります!

(七期生 平田江里)



三期生のみなさまへ

八月に開催される同窓会総会において、アトラクションとして長沢薫さん(三期生)のミニライブが行われます。長沢さんの透き通るような歌声は在学中から定評があり、現在は「子守唄や童謡を歌う歌手として多方面で活躍されています。ぜひ同窓会総会に出席して、長沢さんのステージを楽しみましょう!!

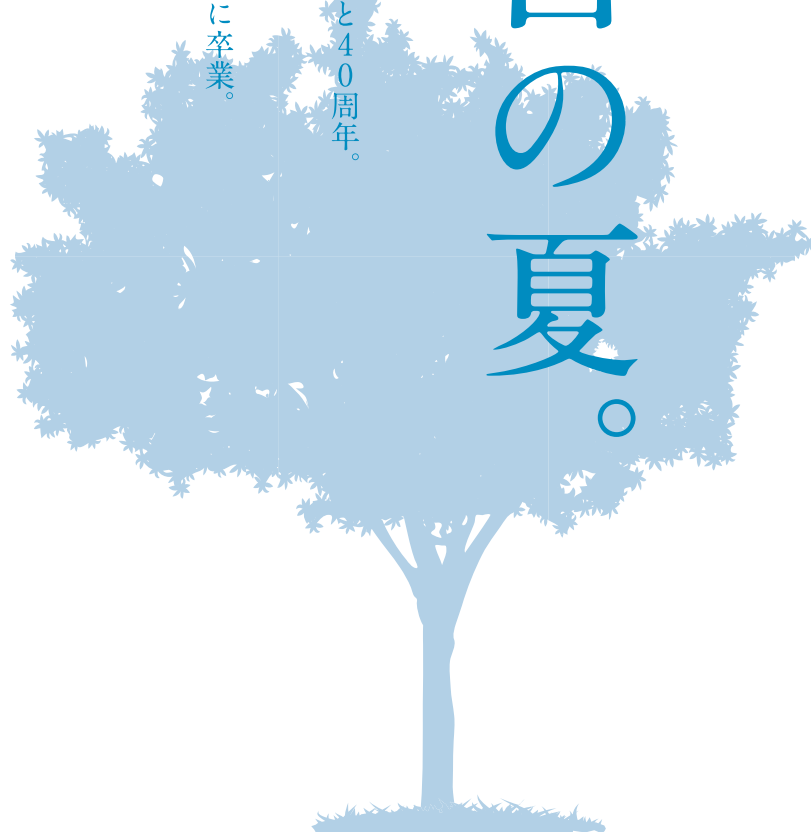
合わせて三期生の三年十組(林和男先生)はクラス会をしますよ!! (o)v



-PROFILE-

東京都多摩市出身。玉川学園女子短期大学卒業。高校在学中より、透明感溢れる歌唱力が注目され、「ロッセ歌のアルバム」「愉快な音楽界」等の番組アシスタント、「ニベア」等のCMソングを歌唱。当時の大関・増位山太志郎(現・三保ケ関親方)からの熱烈な指名により、デュエットパートナーとして、テイチクより本格デビュー。「日本有線大賞」選出など多方面にて活躍する

40年目の夏。



私たちが永山高校を卒業して、今年なんと40周年。

第一期生として希望を持って入学し、

まさに青春の3年間を過ごして1975年に卒業。

それから各々の道を歩んできました。

1975年はたくさんのお出来事があった、

いまだに熱く、思い出深い年でした。

あの40年前、私たちは何を考え、何を夢見ていたでしょう。

いま時を経て、私たちはここに集おうとしています。

40年は長いのか、短いのか。

答えは仲間に逢えばきっとわかるはず。

あの時代に戻れるチャンスは、もうそんなに多くありません。

後悔しないためにも、さあ、みんなで集まりましょう。

永山高校 10年に一度の 大同窓会

原稿募集!

楽しい月
懐かしい

何年経っていても、会えば無邪気でひたすらに楽しかった頃の笑顔が集まる場所へ。

「同期会を開いたぞ!」「クラス会で懐かしい面々と再会です」「永山時代の武勇伝」などなど・次回会報の原稿を募集します。

思い出写真、〇〇年後(!)写真も大歓迎!

広告募集

来年度(8号)会報に会社やお店の広告を掲載しませんか?

料金は10,000円です。

多数の応募をお待ちしています。

同窓生の皆さん宜しくお願い致します。

お問い合わせ先

同窓会事務局 ☎ 0120-10-9899

(東京都立永山高等学校内)

(内線90)

平日10:00~17:00

私も同窓生です！VOL6

今回、皆様にご紹介する同窓生は一期生の川崎悦子さんです。

現在、川崎さんは舞台を中心に活動している振付家です。また、自身で設立したBEATNIK STUDIOを運営しています。

川崎さんは高校在学中から歌手になりたいと思っていました。卒業後は大手一流企業に勤めましたが、歌手になる夢をあきらめきれずOLを続けながら各種オーディションに挑戦する日々を送っていました。

あるオーディションで声をかけられ、公演期間の約一ヶ月間俳優の宝田明さんの付き人をつとめました。

一か月の間会社を休む事となり勤めていた会社をやむなく退職。その後、調布市内の企業で、二年ほど働きましたが芸能界を目指すため退職、ダンススタジオでダンスの練習に励んでいます。

その後、一世風靡セピアの振り付けを手がけましたが、彼らがメジャーになる時に事情で表舞台に出られませんでした。その後、渡辺美里のコンサートの振り付けをかわきりに数多くのアーティストのコンサートに関わりました。よく知られているものとして「武富士」のテレビCMが挙げられます。現在はkinKi KIDSの堂本光



左から林田・川崎さん（1期生）・加藤副会長・奈良崎会長

一さんの舞台の振り付け（エンドレスシヨック）を長年担当されています。

今年、川崎さんは第二十二回読売演劇大賞の演出家賞を受賞、益々、活躍が期待される振付家として注目を浴びています。

当日は、地元である府中市でお会いしました、同席した奈良崎会長とはご実家がすぐ近くだったとのことで地元の話で大いに盛り上がっていました。

（七期生 林田真一）

役員紹介

第九回定期総会にて承認された役員です。力を合わせて頑張りますのでご協力をお願いいたします。

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
会計監査	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	常任委員	書記	書記	会計	会計	副会長	副会長	会長	顧問	名誉会長	役員
平田 江里	高村 恭平	吉岡奈々子	神子沢 舞	宮村 祐二	近松 正隆	関戸 正義	望月 希衣	桑原 秀夫	井下登美子	高久 誠	高木 美恵	林 ゆきの	松井 泰衛	峯尾 仁	尾崎 正	小澤 美穂	小峯 信子	小高一真	//	林田 真一	加藤 英明	奈良崎久和	白野 一治	西村 伸二	氏名
7期	32期	31期	31期	31期	12期	10期	9期	8期	7期	7期	4期	3期	2期	2期	1期	32期	3期	25期	7期	7期	1期	3期	副校長	校長	任期

事務局からのお知らせ

このページは、永山高校を卒業された会員の皆様のページです。同期会やクラス会、また、クラブのOB会などの告知や報告の場として活用してください。卒業生の名簿の開示については、同窓会ホームページをご覧くださいようお問い合わせします。

会報は毎年発行する予定です。現在の永山高校の情報や同窓生相互の連絡の場として、この会報が皆様のお役に立てれば幸いです。

これからは誌面のなかで、さまざまな分野でご活躍の同窓生も紹介したいと思っています。四十周年を過ぎ五十周年を迎えるためにも、皆様からの情報をお寄せください。なお、八ページに事務局の案内がありますのでよろしくお問い合わせ致します。



第33回吹奏楽部定期演奏会 盛大に開催！

恒例の吹奏楽部定期演奏会も今年33回目。4月12日、パルテノン多摩大ホールにおいて開催されました。立ち見が出るほどの大盛況で、参加されたみなさんも最後まで楽しく過ごすことができました。私も同窓会会長として伺いましたが毎年本当に楽しみにしています。長年、吹奏楽部を支えてこられた馬場桂先生がこの春移動され、今年の卒業生にとっても最後の演奏会となりました。

また同窓会員でもある吹奏楽部OBバンド「多摩ウインズ」が今年も参加。結成25周年記念の本年は90人という大編成で、パワフルで本当に素敵な演奏を披露してくれました。今年は11期生から41期生まで年の差30歳の編成だったそうで、OBバンドならではのですね。

現役のメンバーも素晴らしい演奏でした。マーチングも年々洗練され素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。伝統の上に毎年さらに発展する吹奏楽部にこれからも期待しエールを送ります。(会長 奈良崎久和)



多摩ウインズ

吹奏楽OBバンド「多摩ウインズ」です。

一九九〇年（平成二年）に、OBのメンバーで結成しました。これまで、A・リード氏、J・バーンズ氏、F・フェネル氏など、著名な方々を迎えて演奏会を開催してきました。

多摩ウインズは演奏会出演の決定と同時に、三〇〇名を超える卒業生からメンバーを集めるため、毎回違った顔ぶれで臨みます。今回は結成二十五周年、九十名編成で参加しました。集まったメンバーで最高の音楽をお届けしたいと精一杯演奏させて頂きました。

現役の吹奏楽部の皆さんも頑張っています。今年も一緒に演奏できたことを嬉しく思います。今後とも定期演奏会に、同窓生の皆様にも足を運んで頂きたいと思えます。



同封物の見方

同窓会サポーター募集 (賛助金募集)

同窓会の運営は、おもに卒業時の終身会費で賄っているのが現状です。少子化により卒業生が減る中、今後の永続的な同窓会活動を続けていくためにも、会員の皆様にご理解いただき賛助金には是非ご協力をお願いいたします。同封の振込用紙にてお近くのコンビニエンスストアもしくは郵便局でお振り込みいただければ幸いです。サポーター制度は多くの方々にご協力いただいています。心より感謝いたします。

1口 2,000円 (振込手数料同窓会負担)
※2口以上ご協力いただける方は、お手数ですが金額訂正の上郵便局にてお振り込みをお願いします。

同窓会事務局

フリーダイヤル
0120-10-9899 (内線90)
平日 10:00~17:00
フリーFAX
0120-10-9184
(終日受付)